2026年3月期第1四半期
業績補足説明資料

Fine Precision, Nano Solution
SUNCALL

コ ー ド ： 5 9 8 5

2 0 2 5 年 8 月 8 日

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

AGENDA

Ⅰ. 2026年3月期第1四半期　決算概要

Ⅱ.2026年3月期　業績見通し

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期第1四半期 決算のポイント

データセンター向け需要が好調に推移し、電子情報通信分野において売上高・営業利益が伸長。

✓ 売上高	15,410百万円（前年同期比+1,103百万円/+7.7%）
✓ 営業利益	2,454百万円（前年同期比+2,838百万円/－%）
✓ 経常利益	2,339百万円（前年同期比+2,417百万円/－%）
✓ 当期純利益	1,949百万円（前年同期比+4,243百万円/－%）

EV関連製品

売上高前年同期比+2.8%

- 電流センサー及びLED関連製品の増加により前年同期比増収。

電子情報通信分野

売上高前年同期比+26.6%

- プリンター関連
  需要が堅調であり前年同期比微増。
- 通信関連
  データセンター向け需要が好調であり北米・アジアでの売上が前年同期比増加。

※ 事業撤退決定済みのHDD用サスペンションは、生産委託先での生産を本年6月、顧客への出荷を同7月で終了。

既存自動車分野

売上高前年同期比▲3.5%

- 材料関連
  主要顧客の受注減少により前年同期比減少。
- 自動車関連
  日本での販売停滞影響のあった前年同期比で増加。

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期第1四半期 決算概要

✓ 売上高	電子情報通信分野においてデータセンター向け需要が好調であり前年同期比+7.7%増収。
✓ 営業利益	上記増収に加え、電子情報通信分野での収益性改善により前年同期比+2,838百万円大幅増益。
✓ 経常利益 ✓ 当期純利益	為替差損154百万円、法人税355百万円他を計上。 HDD用サスペンション事業での訴訟和解金20億円の計上があった前期比で改善。

決算概要 (単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	対前年同期比	
売上高	14,306	15,410	+1,103	+7.7%
営業利益	▲383	2,454	+2,838	-
経常利益	▲77	2,339	+2,417	-
当期純利益	▲2,293	1,949	+4,243	-
一株当たり利益	▲76.14	64.40		
平均為替レート	155.9円/ﾄﾞﾙ 167.9円/ﾕｰﾛ	144.6円/ﾄﾞﾙ 163.8円/ﾕｰﾛ		

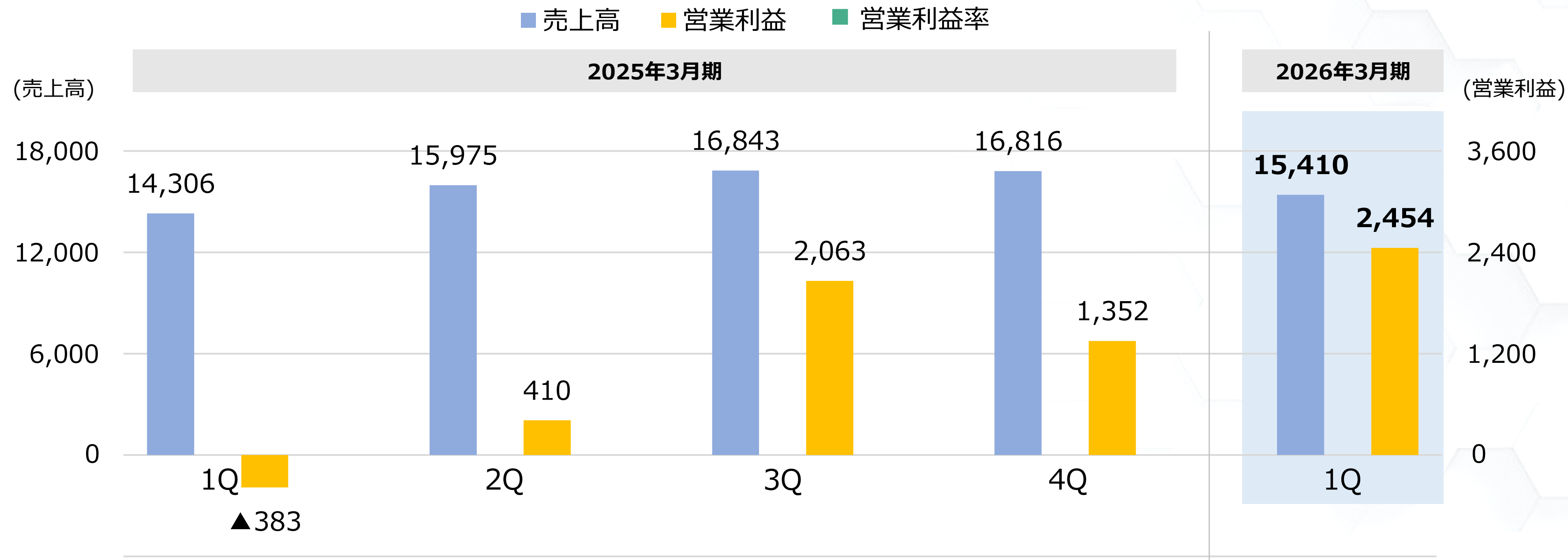
©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期第1四半期 四半期業績推移

対前四半期比

✓ EV関連製品	<売上高>	バスバー立ち上がり遅れによる減収。
	<営業利益>	上記減収による減益。
✓ 電子情報通信分野	<売上高>	HDD用サスペンションの数量減少及び為替影響等による減収。
	<営業利益>	HDD用サスペンションの収益性改善による増益。
✓ 既存自動車分野	<売上高>	材料関連での主要顧客の受注減少により減少。
	<営業利益>	メキシコ子会社の改善等により増益。

四半期別業績の推移



©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期第1四半期 事業別売上高・営業利益

SUNCALL Fine Precision, Nano Solution

対前年同期比

✓ EV関連製品	< 売 上 高 >		電流センサー及びLED関連製品の増加により増収。
	<営業利益>		バスバー立上げ費用及び償却負担増加等により減益。
✓ 電子情報通信分野	< 売 上 高 >	HDD用サスペンション※	事業撤退決定済みであり、前年並みの売上高。
		プリンター関連	需要が堅調であり微増。
		通信関連	データセンター向け需要が好調であり、北米・アジアでの売上が大幅に増加。
	<営業利益>		上記増収に加え、HDD用サスペンションの訴訟関連費用の減少等により増益。
✓ 既存自動車分野	< 売 上 高 >	材料関連	主要顧客の受注減少により▲18.6%減収。
		自動車関連	国内販売停滞の影響のあった前年同期比で+2.2%増収。
	<営業利益>		材料関連の原価低減や経費抑制及び自動車関連の増収等による増益。

事業別売上高・営業利益 (単位：百万円)	2025年3月期第1四半期実績		2026年3月期第1四半期実績		対前年同期比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
連結合計	14,306	▲383	15,410	2,454	+1,103	+7.7%	+2,838	-
EV関連製品	793	▲46	814	▲103	+21	+2.8%	▲56	-
電子情報通信分野	5,174	▲296	6,550	2,142	+1,375	+26.6%	+2,439	-
HDD用サスペンション※	3,584	-	3,597	-	+13	+0.4%	-	-
プリンター関連	930	-	969	-	+38	+4.2%	-	-
通信関連	537	-	1,840	-	+1,302	+242.1%	-	-
その他	121	-	142	-	+21	+17.9%	-	-
既存自動車分野	8,338	▲40	8,045	415	▲293	▲3.5%	+455	-
材料関連	2,293	-	1,867	-	▲426	▲18.6%	-	-
自動車関連	6,045	-	6,177	-	+132	+2.2%	-	-

※事業撤退により生産委託先での生産を2025年6月、出荷を2025年7月で終了。

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期第1四半期 連結貸借対照表

対前期末比

✓ 流動資産減少	現預金+731百万円、売掛金▲869百万円、棚卸資産▲1,303百万円、未収入金▲773百万円他
✓ 流動負債減少	買掛金▲2,171百万円、短期借入金▲1,006百万円、未払費用▲614百万円他
✓ 純資産増加	利益剰余金+1,949百万円、為替換算調整勘定▲476百万円他

連結貸借対照表 (単位：百万円)	2025年3月期末 実績	2026年3月期 第1四半期末 実績	前期末比	
流動資産	34,996	32,753	▲2,242	▲6.4%
現預金	9,195	9,926	+731	+8.0%
売上債権	14,928	14,006	▲921	▲6.2%
棚卸資産	9,263	7,959	▲1,303	▲14.1%
固定資産	25,179	25,017	▲161	▲0.6%
総資産	60,175	57,770	▲2,404	▲4.0%
負債合計	33,582	29,520	▲4,062	▲12.1%
流動負債	26,203	22,134	▲4,069	▲15.5%
有利子負債	11,569	10,517	▲1,052	▲9.1%
固定負債	7,378	7,385	+7	+0.1%
有利子負債	4,007	4,125	+117	+2.9%
純資産合計	26,592	28,250	+1,657	+6.2%
負債純資産合計	60,175	57,770	▲2,404	▲4.0%

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

AGENDA

Ⅰ. 2026年3月期第1四半期　決算概要

Ⅱ.2026年3月期　業績見通し

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

5月15日公表の上期及び通期予想を上方修正

データセンター向け需要は引き続き好調に推移し、
電子情報通信分野において当初想定の売上高及び収益性を上回る

足元の実績および直近の見通しを反映し、上方修正

※　なお、下期は米国の関税措置等の外部環境による影響が依然として不透明であり、前回公表値を据え置き

通期業績予想	2025年3月期		2026年3月期				対前回増減率	
	実績		前回予想(5/15公表)		通期予想			
(単位：百万円)	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	30,281	63,940	24,000	47,000	27,000	50,000	+12.5%	+6.4%
営業利益	27	3,442	1,200	2,500	3,400	4,700	+183.3%	+88.0%
経常利益	▲321	3,156	1,100	2,300	3,400	4,600	+209.1%	+100.0%
当期純利益	▲1,068	▲769	600	1,400	2,800	3,600	+366.7%	+157.1%
一株当たり利益	▲35.47	▲25.53	19.90	46.43	92.45	118.87		
平均為替レート	152.6円/ﾄﾞﾙ 165.9円/ﾕｰﾛ	152.6円/ﾄﾞﾙ 163.7円/ﾕｰﾛ	145.0円/ﾄﾞﾙ 157.0円/ﾕｰﾛ		143.8円/ﾄﾞﾙ 161.9円/ﾕｰﾛ	143.4円/ﾄﾞﾙ 161.0円/ﾕｰﾛ		

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

2026年3月期 事業別 売上高・営業利益　通期予想

対前回予想比

✓ EV関連製品	< 売 上 高 >	バスバー立ち上がり遅れによる減収。
	＜営業利益＞	上記減収による減益。
✓ 電子情報通信分野	< 売 上 高 >	データセンター向け需要が好調であり、通信関連製品が増収見込み。
	＜営業利益＞	上記増収に加え、収益性改善により増益。
✓ 既存自動車分野	< 売 上 高 >	米国関税に伴う一定の受注変動リスクを織込むものの、材料関連・自動車関連ともに堅調な見通し。
	＜営業利益＞	対前回微増の見通し。

事業別売上高・営業利益	2025年3月期		2026年3月期				対前回増減率	
	実績		前回予想(5/15公表)		通期予想			
(単位：百万円)	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	63,940	3,442	47,000	2,500	50,000	4,700	+6.4%	+88.0%
EV関連製品	3,473	▲33	4,600	▲100	4,200	▲140	▲8.7%	-
電子情報通信分野	26,068	2,906	12,400	1,900	14,300	4,100	+15.3%	+115.8%
HDD用サスペンション	16,371	-	3,000	-	3,600	-	+20.0%	-
プリンター関連	4,213	-	3,300	-	3,500	-	+6.1%	-
通信関連	4,965	-	5,500	-	6,600	-	+20.0%	-
その他	517	-	600	-	600	-	+0.0%	-
既存自動車分野	34,399	569	30,000	700	31,500	740	+5.0%	+5.7%
材料関連	9,578	-	6,800	-	7,300	-	+7.4%	-
自動車関連	24,821	-	23,200	-	24,200	-	+4.3%	-

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

中期経営計画2027　株主還元方針

- 2025年度期末配当5円　/　2027年度配当性向30%以上を目指す。

2026年3月期 配当予想(5/15開示)

- 直近の経営環境は市況悪化によるHDD用サスペンション事業撤退、負債増加等の状況を勘案し、まずは経営の安定化とキャッシュフローの確保に努め、2026年3月期末より復配。

2026年3月期 配当予想(今回)

- 業績が当初想定を上回って推移し、業績見通しも上方修正している状況を踏まえ、年間配当10円（中間配当5円、期末配当5円）へ増配。

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 前回予想(5/15)	2026/3期 予想
中間配当	9円	11円	10円	-	-	**5円**
期末配当	11円	9円	10円	-	5円	**5円**
年間配当合計	20円	20円	20円	-	5円	**10円**

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

Fine Precision, Nano Solution
サンコール株式会社

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.